

## 第1回 学校運営協議会 地域連携部会 議事録

メンバー：学校運営協議会委員 岡本 和己様 須崎 久美様 平松 紀子様  
本校教職員 倉永 大作、藤原 敏子

### ◎倉永教頭

- ・目指す姿、将来の姿を共通理解し、地域に帰って社会参加できるように、今必要な学習や体験を考えている。今、イベントに関わる経験をすれば、将来も関わるができる。
- ・生徒同士の交流及び共同学習はこれからも継続していきたい。
- ・作業学習での販売活動を地域でさせてもらっている。ただし、生徒が作る生産量には限界がある。コロナ前にやっていたことを復活させていきたい。
- ・さまざまな場面で専門家に御指導をいただきたい。現在は、青山商事や資生堂の方に来てもらって身だしなみの学習をしている。ビジネスマナーの学習も外部講師にいただいている。性教育も外部講師に来ていただいている。気楽にできる、負担なくできることがよい。

### ◎平松 紀子委員

- ・興除小学校では4年生～6年生で南支援小学部との交流を行っている。小さい時からの継続は大切だと思う。南支援は少人数の学年だから、我々にできることは、大きな集団の活動を提供することである。
- ・4年生は福祉の学習をする一連の学習の中に、支援学校との交流が含まれている。西ふれあいセンターの出前講座を活用して、高齢者についても学んでいる。「認知症サポーター」の認定証やマスコットがもらえる。それをきっかけにして高齢者福祉や障害者福祉について自分にできることはないか、調べ学習をしている。いろいろな立場の人とかかわる力、思いやりの力をつけていきたいと思っている。

### ◎須崎 久美委員

- ・働くことの厳しさを社会に出てから実感する子が多い。ずっと働き続けたいと思って就労したが、毎日働くことがこんなにも大変なことだとは思わなかった、と言っている。また、今まで経験したことをもとに職業を選ぶ傾向がある。
- ・玉野市で、今度事業所説明会がある。だれでも参加できるようにしている。支援学校のパンフレットを置いてみたりしてはどうだろう。学校とつながりたい。玉野市福祉まつりというものもある。このようなイベントにも児童生徒が参加できるといい。

### ◎岡本 和己委員

- ・この地域は、小規模の事業所が多いため、なかなか就労体験を受け入れられる余裕がない。
- ・玉野市東児地区の地域や特産品の知名度を上げるためと商工会活動のPRを目的として東児ライダー

2023/06/08

というローカルヒーロー事業を岡山南商工会東児支所青年部が立ち上げた。須崎委員の言われるような玉野市で行われるイベントがあれば協力していきたい。

・サウスヴィレッジで、商工会マルシェを開催している。学校とタイアップできるかもしれない。

◎倉永教頭

・今後も、何かあれば連絡相談させていただきたいのでよろしくお願いします。